

TOYO BUNKO MUSEUM

もっと知りたい!

イスラム展

秘蔵の『コーラン』
待望の公開



2015年1月10日(土)~4月12日(日)

 東洋文庫ミュージアム

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL:03-3942-0280
入館料 ◆900円(一般)・800円(シニア)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
アクセス ◆駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分
開館時間 ◆10:00~19:00 ※入館は閉館の30分前まで
休館日 ◆毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は次の平日)



必見！今こそイスラーム入門



① 久々の公開！秘蔵の『コーラン』写本



② 教科書でお馴染み、あの人の肖像



④ アダム、キリスト、そしてムハンマドが1枚の系図の中に登場！



③ 数百年の時をこえた契約文書

- ①『コーラン』1371-72年 シリア地方
- ②『シャー・ジャハーンの肖像』
F.R. マーティン 1912年 ロンドン
- ③『ヴェラム製 アラビア語契約文書』
16～19世紀 フェズ(モロッコ)
- ④『相承図』1925年 北京

「イスラム教(イスラーム)」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？

戒律が厳しい宗教？アラビアンナイトの世界？あるいは連日報道されている政治的な活動や過激な行動でしょうか。

イスラム教は、7世紀初めにアラビア半島中西部の商業都市メッカで興りました。信仰は中東から各地へと広がり、現在は世界人口のおよそ1/4にあたる約16億の人がイスラム教徒であると言われています。

このような世界的宗教でありながら、日本人にとっては馴染みがうすく、それ故にメディアをにぎわしているイメージに留まっている方は多いのではないのでしょうか。

本展では、イスラム教の誕生、信仰のあり方、そしてイスラム文化の広がりや多様性まで、豊富な史料で分かりやすくご紹介いたします。600年以上前に書き写された『コーラン』や、モロッコで書かれたヴェラム(子牛皮紙)製の契約文書など、東洋文庫所蔵の逸品・珍品がそろそろ貴重な機会です。

知れば知るほど、もっと知りたくなる。めくるめくイスラームの世界へようこそ！



▲『朝鮮風俗図巻』

19世紀前半(江戸時代)

特別公開～東洋文庫の名品



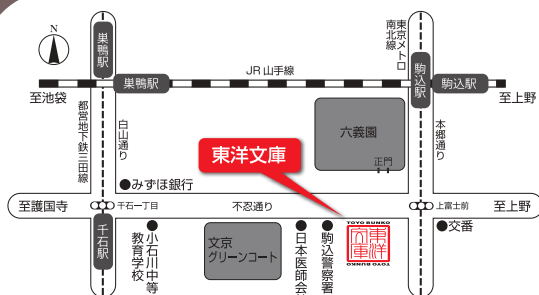
▲ 国宝『文選集注』巻百十三

10-12世紀(平安時代)



▲『聖書』

1686年 ニュルンベルク



交通案内：
駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

- *ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00 ~ 19:00)
- *レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30 ~ 21:30)